

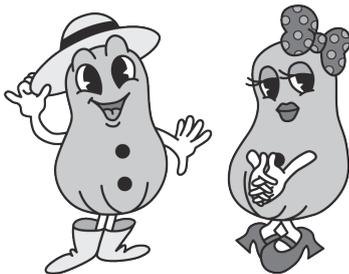
市議会だより



ご入学、おめでとうございます。

4月9日に市内小学校で入学式が行われました。

(写真：八街東小学校)



ピーちゃん

ナツちゃん

主な内容

3月定例会

- 提出議案の主な内容 ————— 2P
- 予算案の内容 ————— 3P
- 委員会での審査 ————— 4P
- 審議された議案と結果 ————— 5P
- 一般質問(代表6人・個人3人)の内容 ————— 6~13P
- 特集・お知らせ ————— 14~16P



3月定例会

提出議案の主な内容

令和3年3月定例会は、2月15日に開会され、諮問1件、議案28件、発議案1件が提出され審議されました。(紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載しています。)

令和3年度市政運営方針 八街市の8つの街づくり



▲提案理由を説明する北村市長

便利で快適な街

◆八街バイパスが供用開始し、後は佐倉インターチェンジへのアクセス道路の整備を進めます。八街駅北口市有地のサウンディング型市場調査の結果を踏

まえ、多角的な視点から検討をしていきます。

安全で安心な街

◆台風やゲリラ豪雨など近年多発する様々な災害に対し、地域防災力の強化を図るため、自主防災組織の設立の促進、消防団の充実を図ります。

健康と思いやりにあふれる街

◆児童館、大規模改修された老人福祉センターが連携することで事業の展開、異世代間交流等を期待します。先天性難聴を発見するための新生児聴覚スクリーニング検査、骨髄移植ドナーが提供しやすい環境の整備など市民の命と健康を守る対策を実施します。

豊かな自然と共生する街

◆クリーンセンターの長寿命化のための焼却炉の大規模改修、森のいずみ公園ほか8つの公園の高圧水銀灯のLED照明化、交進小学校の浄化槽の全面的な改修など環境に配慮した施設、設

備の改修を行います。大雨時における浸水被害を防止するため、雨水の貯留施設として一区地先の用地を買収し、調整池の整備を進めています。

心の豊かさを感じる街

◆市制施行30周年記念誌、「(仮)古写真にみる八街の150年」の発行、東京オリンピック・パラリンピックに出場内定の本市出身の選手を市民全体で応援するパブリックビューイングや、延期された小出義雄杯八街落花生マラソン大会の開催に必要な経費を計上しました。教育・学習環境の整備では、児童生徒一人一台整備したタブレット端末を活用し、子どもたちの新しい学びの推進が期待されます。

活気に満ちあふれる街

◆山林の再生や風折れ等の被害の未然防止のため、サンブスギの伐倒や植栽にかかる経費を一部補助します。コロナ禍により中止になった落花生まつりを内容を充実させて開催します。当市のPRに努め、街の賑わいをも

たらず産業の振興に努めていきます。

市民とともにつくる街

◆協同のまちづくりの推進のため、市民の皆様がまちづくりについて、知って得する知識を学べるように「知っ得・納得やちまた出前講座」、「地域力向上スクール」を実施しています。地域の中心となる人物等の発掘に繋げていきます。

市民サービスの充実した街

◆移住定住促進事業として市のPRパンフレットの作成、結婚を希望する若者への支援としてイベントやセミナーの開催の予算を計上します。情報通信技術の活用により電子自治体の構築を進め、住民票や印鑑証明書など各種証明書のコンビニ発行など市民の負担の軽減、利便性の向上を図り、効率的な自治体運営の実現を目指します。

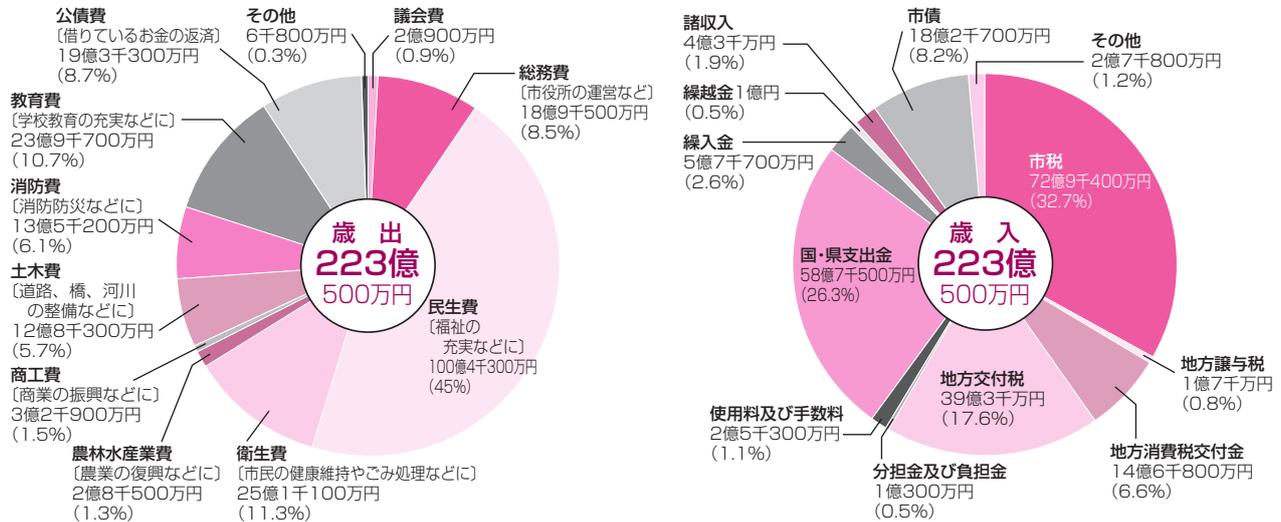
人事

◆人権擁護委員候補者の推薦
・椎名 榮子氏(八街に)

令和3年度 予算審査特別委員会

令和3年度一般会計予算の審査を、議長を除く議員19名を委員とした特別委員会を設置し、委員長に小高良則議員、副委員長に小川喜敬議員が選出され、3月9日、10日、11日、15日の4日間に渡り、慎重に審査がされました。

令和3年度一般会計予算



令和3年度八街市一般会計予算、討論！(要約)

反対

新年度は市財政逼迫の中、総額223億500万円の当初予算になりましたが、コロナ禍で優先すべきは新型コロナ感染防止対策や市民生活が成り立つ経済対策、感染抑止のためのPCR検査などの抜本的強化を市独自の施策として予算確保することです。経費削減を理由に指定管理者制度を導入した児童館等の3施設は老人福祉センター、南部老人憩いの家だけで1千100万円の増額です。一方で委託事業を市直営により経費削減した事業もあり、各課事業の在り方、原価見積等の見直しが必要です。

新年度の公共交通計画案では、街の中心部から離れた地域の市民には改善に繋がらず、実証実験が不十分だったことを踏まえ、早期に市民と練り上げることを求めます。また市営住宅は耐用年数を超え老朽化が激しいため長寿命化計画の見直しを早急にし、コロナ禍により圧迫される市民生活を大切にするため、税滞納者の入居拒否は改めるべきです。

このコロナ禍で一層明らかになった貧困問題にどう取り組むのか、給食費無償化と、貧困の連鎖を断ち切る市独自の給付型奨学金制度を求め反対します。

討論

令和3年度は八街市総合計画2015後期基本計画の初年度にあたり、人口減少、地方創生に焦点を当てた予算です。歳入全体として市民税前年比2億4千万円の減収、固定資産税前年比9千200万円の減収です。

一昨年の災害、新型コロナ対応のため財政出動が行われています。財政調整基金の活用、積み増しが必須です。また財政の硬直化も顕著であり、今後とも適切な歳入確保に努め、持続可能な行財政運営、市民サービスの維持や充実を図ってほしいと思います。

賛成

賛成

令和3年度当初予算は予算規模こそ減少していますが、これまで経験したことのない厳しい環境でも市民サービスを維持しつつ感染防止対策、地域経済活性化の施策、さらにワクチン接種対応事業などを追加補正したことは大いに評価できます。新たな日常を意識した住民票などのコンビニ交付の開始、クリーンセンター大規模改修、児童館の開館、老人福祉センターの大規模改修、骨髄移植ドナー等への助成や新生児聴覚スクリーニング検査への助成など福祉や健康に配慮した取組も大いに評価できます。愛着のもてる街づくりに期待して賛成します。

◆令和3年度 予算◆

区分	令和3年度当初予算額①	令和2年度当初予算額②	増減額①-②
一般会計	※ 223億 500万円	242億8千725万円	▲19億8千225万円
国民健康保険	83億6千500万円	85億2千955万円	▲1億6千455万円
後期高齢者医療	7億3千733万円	7億 641万円	3千 92万円
介護保険	49億2千392万円	49億3千154万円	▲762万円
下水道事業	12億4千272万円	12億2千387万円	1千885万円
水道事業	13億8千387万円	13億8千492万円	▲105万円

※ 一般会計予算額は、令和3年3月18日に可決された補正予算を加えた額です。

委員会での 審査

紙面の都合上、質疑等の内容の一部を掲載しています。

総務

◆一般会計補正予算◆

問 防災備蓄倉庫整備事業の説明にあった新型コロナウイルス対策の内容は。

答 中央公民館とスポーツプラザに設置予定の防災備蓄倉庫には、新型コロナウイルス等の感染症予防策として購入した段ボールベッドや飛沫防止用の段ボールパーテーションを保管する予定です。

問 ふるさと納税の額が2千万円程度の増だったとの説明があったが、総件数は。

答 昨年12月末までのふるさと納税は4千204件、6千171万8千円でした。一昨年の災害分3件と新型コロナウイルス関係の4件の応援寄付金を合わせると、6千276万8千円です。年度末ま

での推計で670件、965万円の増額を見込んでいます。

文教福祉

◆一般会計補正予算

問 住宅確保給付金の申請者数と受給者数は。

答 12月末現在で申請者数は74件、支給決定数は65件です。

問 国民健康保険の低所得者への保険税の軽減対象者数は。

答 令和2年度の決定額では、7割軽減が3千493世帯、5割軽減が1千673世帯、2割軽減が1千485世帯、全体で6千651世帯が対象です。

◆国民健康保険特別会計予算

問 財政調整基金が昨年度の1千円から今年度は4千364万9千円に増額された経緯は。

答 財源の調整がつかず、基金からの繰入により調整を図りました。

問 令和2年度は新型コロナウイルスによる国保税減免があったが、令和3年度においてはどうか。

答 現時点では示されていませんが、傷病手当の財政支援は6月末まで延長する通知を受けて

います。

◆後期高齢者医療特別会計予算

問 令和3年度の介護保険料の軽減特例は。

答 令和2年度まで軽減特例7・75割軽減だったものが、令和3年度から本則の7割軽減に戻ります。

問 軽減特例廃止により本則の7割軽減になった人たちへの影響は。

答 保険料の負担がこれまでの9千700円から1万3千円になります。見込みとして1万800人くらいの人たちに影響がある見込みです。

◆介護保険特別会計予算

問 配食サービス業務、おむつ支給業務の詳細は。

答 配食サービスは月5000食、おむつ支給業務は月180人を見込んで試算しています。

経済建設

◆一般会計補正予算

問 新型コロナウイルス感染拡大により消費生活の相談の状況は。

答 消費生活センターへの相談件数は448件です。インターネット通販の利用の増加による内容が増えています。

◆下水道事業会計予算

問 下水道の耐用年数は。

答 コンクリート製品だと50年です。八街市では耐用年数が過ぎた管はありません。調査の結果、ひどい腐食等も見られていません。

◆水道事業会計予算

問 令和3年度の給配水管の更新工事の計画は。

答 3本、距離数349メートルの更新工事を予定しています。

問 給水件数1万5千371戸は市全体の何パーセントか。

答 51から52パーセントです。

令和3年3月定例会議案等賛否一覧

議案番号等	件名	結果	各議員の賛否																			
			議長	誠和会						公明党			やちまた21		改	革	新	日	本			
			鈴木 広美	木村 利晴	山口 孝弘	林 修三	小菅 耕二	山田 雅士	小川 喜敬	角 麻子	木内 文雄	栗林 澄恵	小向 繁展	加藤 弘	林 政男	小澤 孝延	桜田 秀雄	新見 準	小高 良則	石井 孝昭	丸山 わき子	京 藤江
市長提出議案																						
諮1	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認める	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議1	専決処分承認を求めることについて（令和2年度八街市一般会計補正予算について）	同意	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議2	専決処分承認を求めることについて（令和2年度八街市一般会計補正予算について）	同意	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議3	八街市財政事情の作成及び公表に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議4	非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議5	八街市郷土資料館設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議6	八街市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議7	八街市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議8	八街市下水道事業運営審議会条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議9	令和2年度八街市一般会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議10	令和2年度八街市国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議11	令和2年度八街市後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議12	令和2年度八街市介護保険特別会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議13	令和2年度八街市下水道事業会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議14	令和2年度八街市水道事業会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議15	令和3年度八街市一般会計予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議16	令和3年度八街市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議17	令和3年度八街市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議18	令和3年度八街市介護保険特別会計予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議19	令和3年度八街市下水道事業会計予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議20	令和3年度八街市水道事業会計予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議21	八街市指定地域密着型サービス基準条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議22	八街市指定地域密着型介護予防サービス基準条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議23	八街市指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議24	八街市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議25	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議26	令和2年度八街市一般会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議27	令和2年度八街市介護保険特別会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議28	令和3年度八街市一般会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案																						
発1	八街市議会会議規則の一部改正について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号等欄 議・・・議案 諮・・・諮問 発・・・発議案
 ※鈴木広美議長は採決に加わりません。
 各議員の賛否欄 ○・・・賛成 ×・・・反対 欠・・・欠席

市政を問う!

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。
3月定例会の一般質問は、2月18日(木)、19日(金)の2日間に9名の議員が質問しました。
(ここでは紙面の都合上、内容の一部を要約して掲載しています。)

代表質問

コロナ禍で安心の市政運営

日本共産党 丸山 わき子



市長の政治姿勢

問 新年度予算編成では、コロナ感染対策、暮らし・福祉

地域経済対策をどのように位置付け運営されるのか。また、新たな財源確保への検討は。

答 コロナ感染症に対する新たな行政需要を見込む必要があり、これまで経験したことのない

厳しい環境においても、現状の市民サービスを維持できる通年型予算とし、国の3次補正の地方創生臨時交付金を活用した地域経済活性化対策や感染防止対策などの追加補正も検討しており、15か月予算として編成したい。新たな財源確保として、市有財産の活用に向けた全庁横断的な検討組織の設置や公有財産利活用の基本方針において検討を進めています。

問 コロナ感染対策について感染状況は190人に一人。また、新たな変異株の感染への不安も市民の中には広がっている。こういった事態に、コロナ災害と位

置付けて、市独自の施策への予算確保が必要ではないか。

答 今後の対応策について関係各課と協議し、新たな対策方針について検討しています。

問 財源確保については、地域経済対策に力を入れていく必要がある。地産地消や食の安全を

重視した農業振興、加工や販売にもっと力を入れ、農産物の需要拡大、雇用、就業の増加、また、農家の所得を増やす地域経済の基盤確立と地域力創出で税収を上げていく取り組みの追及を。

答 八街市は農業のまち。いろいろな方面から支援を考えています。

問 市の総合計画・後期計画では、稼げる農業を方針にしている。農産物の販売システム、地産地消も兼ねた取り組みとともに、たけのこの里を活用しては。

答 たけのこの里については、種々の事情から断念した経緯があり、JAとも連携を取りながら、新たな販売戦略の構築を考え

ていきます。

問 公平な市政運営について、昨年の決算委員会で指摘した滞納する市民への市営住宅への入居拒否をやめること。また、参加率が2割程度になっている敬老会の見直し、さらには交通不便地域の市民への暮らしの足の確保について、市民が安心して暮らしを営むために地方自治体の役割をしっかりと果たす新年度予算となっているか。

答 滞納した市民への市営住宅の入居制限については、本市の条例で市税に滞納がないことを定めています。敬老会事業について敬老会は開催せずに、記念品を配布するための予算を計上しました。また、交通不便地域の市民の足の確保について、本市に合ったよりよい公共交通の在り方を、八街市地域公共交通協議会で検討しています。



代表質問

地域づくりは人財づくり

やちまた21 小澤 孝延



市の人財育成

問 市民サービスの向上と創造の観点から、新年度の人財育成の方針と計画は。

答 人財育成の方針は、人事評価制度の適正な運用が挙げられます。個人目標の達成により、組織としての目標を達成することを目的とし、職員一人ひとりが目標管理を通じ、自己能力を磨くことで公務能力の底上げを図ります。研修計画は、職員の資質向上、意識改革を推進するため、幅広く実施し、人財育成を着実に推進していきます。

問 自治体職員として、職員個々のキャリアデザインへの考え、計画は。

答 希望する職員を県自治研修センター主催のロジカル・ライティング研修、プレゼンテーション研修等へ派遣しています。今後も職員のキャリア形成を支援するのに有効な研修の選定、受講機会の拡大をしていきます。

問 市民に寄り添い、課題を共有し、解決に取り組む地域内での人財育成の在り方について、どう考えるか。

答 協働のまちづくりには、市民と職員が現状や課題を共有し、互いを尊重した上で議論をする場が必要です。そうすることで市民の皆様と信頼関係が構築され、活発な意見交換により互いの長所を活かした解決策やアイデアが生まれ、多様化する地域課題に対応したまちづくりが可能になると考えます。そうした議論の場として、令和3年度から、市職員が地域力向上スクール等へ参加できる機会を可能な限り作っていきます。



八街の歴史や伝統の承継

問 一昨年の台風15号等の過去の例のない暴風雨により郷土資料館が解体を余儀なくされる被害を受けた。シビックプライドの醸成や次代を担う人財の育成には歴史や伝統の承継が必要不可欠である。そのためには郷土資料館の再整備は急を要する課題です。歴史や伝統の承継についての考えは。

答 歴史や伝統の承継とは、史実の紹介だけではなく、先人達の積み重ねが礎となり、文化や伝統として現在の我々に言葉や衣食、生活習慣や街並み、自然という形で受け継がれていることを伝えることです。歴史や伝統と市民一人ひとりの深い結び付きを知り、地域を思う豊かな心を育み、それを次世代に引き継ぐことが、やちまたの発展につながり、その核となる施設こそが郷土資料館だと考えています。

問 郷土資料館は4月1日から中央公民館の会議室で仮展示が始まるが、魅力ある郷土資料館とするための再整備への思い、展望や計画は。

答 中央公民館での仮展示は以前の3分の1の面積なので展

示できる資料も限られるため、テーマを限定し、魅力的な展示になるように作業を進めています。また、市内在住の方から、大型から小型まで数百台のフィルムカメラが寄贈され、新たな展示室の目玉展示になり得るものです。貴重な資料の歴史的価値を損なうことなく後世まで残せる施設整備の必要性は痛感しており、郷土資料館の建設に向け努力します。



▲仮展示で再開した郷土資料館

【その他の質問】

◆新型コロナウイルス ワクチン接種へのアプリ等の活用

代表質問

学校教育と学習塾

新誠会 小高 良則



学力向上と学習塾

問 生きる力である学力の向上を目指すべきということと質が増えている状況です。保護者の「塾に行かないと行きたい志望校になかなか入れない」という話を聞きました。これは学校の教育では、基礎を徹底的に、学び方をま

えるが、教育委員会の考えは。また、学習塾に行かないと学力が上がらないとの保護者の話をどのように捉え、調査・分析し、現状は。

ず学ばせる、そこから始まり進んでいくという話がありました。今の塾の状況を見ると、完全に塾が学問を修得する一つのツール化しているのだと思います。その状況をどのように考えるのか。基礎学力、学びの仕方を中心と考える中、高みも目指していくべきと考

答 情報化や人工知能等の飛躍的進化に伴い急激に変化する

社会の中、新学習指導要領では、子どもたちの学びについて、未来の創り手となるために必要な資質能力を確実に育むことが必要であると、学力について「基礎的な知識及び技能」「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの柱として示されました。



これまで日本における学力とは、得点力として測られることが多く見られ、教職員も子どもたちの知識技能を高めるための一斉学習が中心となつて行われてきました。八街市では、「確かな学力」の育成に向けて、授業改善や学習連携により基礎学力の向上や学び方を身につけることに取り組んで

来ました。これからの新しい学力を醸成していくことは、基礎基本の習得のみならず、知識や技能と生活の結び付きや、思考力・判断力・表現力との相互の関連付けにより学習の深化・統合化を図ることにつながり、「確かな学力」を育むことが必要であると考えています。



そこで、次年度から開始するGIGAスクール構想において、より学ぶ意欲を育んだり、個々の進捗に合わせた学習を行い、主体的で対話的な深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことで、これまでの取組の効果がより大きく

できるものと考えています。また、新しい学習の取組として、先日、千葉工業大学の先川原正浩教授を講師に招き、「ロボット技術の現状と将来の展望」について、市内中学校4校の1、2年生全員を対象とするオンライン授業を行いました。普段、ロボットに興味がない

生徒からも、興味関心が高まったという感想が多数得られ、学習意欲が高まる効果を実感しています。このようなICTの活用については、教育センターを中心に、より効果的なものとなるように、研究や情報収集を重ね、教員研修や情報提供を行うなど、今後も授業改善や教員のスキルアップを継続していきます。教育委員会としては、子どもたちが自主的に学べて、新たな課題を見つけ、共同学習により解決していく、新しい学習の形への授業改善により、子どもたちの学習意欲と学力の向上、ひいては得点力の向上にも努めたいと考えています。また、高められた一人ひとりの学習意欲や学習状況に応じた個別学習に、一人一台端末を活用することで、「最適化された学び」を実現していきます。

【その他の質問】

- ◆ 新型コロナウイルス対応
マイナンバーカードの普及
- ◆ 新年度予算
新規事業及び廃止事業
公共施設の空気清浄機並びに加
湿器の配置



代表質問 高齢者支援タクシー

桜田 秀雄



高齢者支援タクシー

もっと利用しやすくしてほしい、との声がある。運用面で見直しできないか。

平成29年10月に事業が開始し、多くの方が利用されています。市内のタクシー利用時に1枚500円が助成される券をひと月4枚交付してきましたが、利用者の増加に伴い、令和2年から3枚の交付に、最高交付枚数を48枚から30枚に改めました。

【関連質問】新見準

枚数の削減は、台風災害やコロナ禍の中で緊縮財政を取らなければならない状況は理解でき、甚だ遺憾である。地域によって高額な料金を払わざるを得ない高齢者も多い。新しい公共交通システムの整備には時間がかかるが、それまでの緊急の救済措置として、現状の1回2枚までの制限を4枚までにするなど、1回の利用枚数を増やしては。



現在は、1乗車につき2枚、助成金額は1千円です。遠距離利用される方は自己負担が多くなっていることから、より利用しやすい制度にすることを検討します。

コロナ禍広報問題

市内のコロナ感染者は人口比で県内トップクラスで感染が止まらない。市長も防犯パトロール車や防災無線で対策を呼びかけている。議長と相談し、市内の駅頭で議員もいっしょになって市民に訴える機会を作っては。

駅を利用しての広報活動について検討します。

市庁舎正面に予防・対策を呼びかける垂れ幕を出しては。

垂れ幕を含め、どういう形で市民の皆さんに周知できるか検討します。

現在のコロナ対策で市民の命を守る立場の市町村ができることは限られている。自宅待機者などに酸素測定器の提供ができるなど、もっと市町村が感染者に寄り添えるように国・県に要望しては。

市長会を通し、医療体制の確保などの決議、県内首長などでも緊急要望をするなどを行っていきます。

口利き記録制度

某市で、議員が気にくわいな職員の異動を幹部職員に求めたことなどが問題になっていく。不当な要求を防止する制度を作れないか。

現在のところ、当市においてはそういった事例がなく、制度の作成については考えていませんが、必要に応じて調査研究を行っていきます。



代表質問

新型コロナウイルス感染症の対応

公明党 木内 文雄



1回、2回のワクチン接種

問 1回目を接種した後、2回目の接種となります。そこで、2回目の予約方法等は。

答 国から示されている情報として、新型コロナウイルスは、いずれの製薬会社のものも2回接種することとなっています。今後、示される情報を基に適切な間隔で接種できるように厚生労働省の手引き等に基づき、接種体制の構築に努めていきます。

副反応への対応は

問 高齢者・持病等を持つ方の副反応への対応は。

答 接種後15分から30分程度の待機をお願いし、万が一、副反応が出たときには、医師が一次対応にあたり、直ちに緊急病院に搬送します。

八街市基本計画

問 計画道路や市で行った道路等の進捗状況は。

答 八街バイパス工事を令和3年3月末に完了します。また、佐倉インターチェンジへのアクセス道路として、八街市八街地先からの佐倉市岩富地先までの延長約1キロメートルを整備するにあたり、千葉県や佐倉市と具体的な協議を進めているところです。

問 令和3年度の計画は。

答 国道409号と県道富里・酒々井線が交わる住野交差点改良工事を引き続き進めるとともに、県道千葉・川上線の吉倉地区交差点改良についても事業化に向けて関係者との協議を進めています。



▲改良工事が待たれる住野交差点

就業支援

問 このコロナ禍での廃業等による就業困難者の取組は。

答 ハローワーク等の関係機関に速やかにつなぐなど、個々の対応に努めていきます。

8050問題への取組

問 8050問題とは80代の親が50代の子を経済的支援することです。市の対応は。

答 「気になる子ども」の個別相談」と、相談支援も合わせて行っています。

問 「断らない相談窓口」の設置は。

答 今後、調査研究をしていきます。

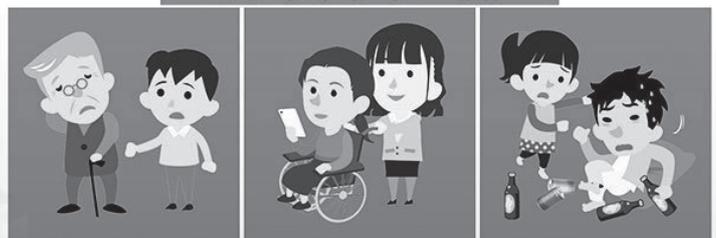
ヤングケアラー

問 市の取組については。

答 教職員に対するヤングケアラーの概念の周知と、その対応について研修を今以上に充実させて、表面化しにくいヤングケアラー問題に対し、迅速な対応と適切な支援を実施していきます。

NHK

ヤングケアラー(例)



親が仕事などのため祖父母の介護

きょうだいの介護

依存症・精神疾患の家族のケア

※ヤングケアラーとは

家族にケアを要する人がいる場合に大人が担うと想定される家事や家族の世話等を日常的に行っている18歳未満の子ども」と日本ケアラー連盟が定義しています。

代表質問

市民のための新年度予算に！

誠和会 山田 雅士



子育て支援

問 八街市児童館の状況は。

答 多くの市民の皆様から熱い要望のあつた児童館が令和3年4月によくやく開館の運びとなります。場所は中央公園、老人福祉センターの隣接地で、子どもたちの居場所としてふさわしく、土地の寄付をしていただいた方に感謝いたします。駐車場は、北総中央用水官舎跡地に、中央公園や老人福祉センター利用を含めて3月末までに約60台分の駐車場整備をします。また、市民に親しまれる施設となるよう、児童館、老人福祉センターの愛称を公募したところ、それぞれ40件の応募があり、選考の結果、八街市児童館の愛称は「ひまわりの家」、八街市老人福祉センターの愛称は「ゆうゆう」に決定しました。なお、児童館は、設計当初から災害時における避難所を想定して計画を進めており、施設のバリアフリー化や非常用電



▲八街市児童館（愛称 ひまわりの家）

源設備、備蓄倉庫など、避難所としての機能を備えています。今後は、災害弱者となる妊産婦や乳幼児などの特別な配慮を必要とする方を受け入れる施設として、福祉避難所の指定をしたいと考えています。

新年度予算

問 新年度予算の中で市長の重点施策は。

答 後期基本計画に基づき、街づくりのための事業を計上しました。結婚新生活への支援、各種証明書等コンビニ交付の導入、重度の強度行動障害者への支援、児童館等指定管理者制度の運用開始、認定こども園への運営支援、骨髄移植ドナー等、新生児聴覚スクリーニング検査への助成、クリーンセンターの大規模改修工事、市道沿い森林の環境整備、雨水排水調整池の整備、交進小学校浄化槽の改修工事、中央公民館大会議室のLED化、給食設備機器の更新、落花生まつりの実施。また、財政状況が非常に厳しい中ですが、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業なども計上しました。

問 コロナ禍での財源確保への考えは。

答 新型コロナウイルス感染症に対する新たな行政需要を見込む必要があり、経験したことのないきびしい環境でも市民サービスを維持できる通年型予算とした中で、例年と同様に、国や県の補

助事業の活用、減収が見込まれる市税や交付金などを補う国の減収補填対策を活用し、財源を確保しました。

問 どの程度の減収を想定しているか。

答 市税収入として、前年度比で約1億9千529万円、率にして2・6パーセント減の72億9千437万円を見込んでいます。

問 減収補填対策活用とは。

答 市民税の個人と法人の減収分は通常、交付税の中の基準財政収入額の中で収入の減という形で算入され、結果として普通交付税が増える要素になります。固定資産税と都市計画税の減収分は、地方特例交付金に新設して、新型コロナウイルス感染症対策地方税収補填特別交付金という項目で全額補填される見込みです。軽自動車税の減収分は、今年度途中で切れる見込みが延長になり、さらに今年12月まで延長になる予定で、その減収分は環境性能割交付金と合わせて、引き続き地方特例交付金の中で補填される見込みです。

問 新型コロナウイルス感染症に対する新たな行政需要を見込む必要があり、経験したことのないきびしい環境でも市民サービスを維持できる通年型予算とした中で、例年と同様に、国や県の補

個人質問

健康と思いやりの街づくり

誠和会 小川 喜敬



老人福祉センターのリニューアルオープン

問 大規模改修により改善された点は。

答 改修工事の概要は、段差の解消、スロープや手すりの設置、トイレの洋式化、浴室の整備など、施設全体をバリアフリー化し、福祉避難所の指定基準に適合する施設とするとともに、太陽光発電設備及び防災井戸を設置しました。内装は、床材、天井、内側クロスの全面張り替え。外壁も塗り替えました。また、省エネ効果の高い空調設備の設置や照明器具のLED化、断熱効果を高めるエコガラスなどを採用しています。



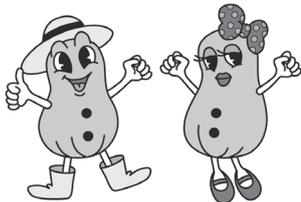
▲老人福祉センターの室内

スポーツ活動、観戦に親しむ機会の拡充

問 東京オリンピック・パラリンピック2020の出場予定選手の応援体制は。

答 本市出身で出場が内定している空手組手の植草歩選手、強化指定選手であるパラバドミントンの里見紗奈選手に対して、市民全体で応援するためにパブリックビューイングを中央公民館で実施する予定です。新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、市民の皆様が安心して参加できるように、準備を進めていきます。お二人が大活躍できるように、市民の皆様とともに精いっぱい応援をしていきます。

がんばれ八街!



八街市イメージキャラクター
ピーちゃん・ナツちゃん

個人質問

安心して暮らせる八街に

日本共産党 京増 藤江



社会保障充実を

問 第8期介護保険制度の介護保険料は。

答 65歳以上の方の保険料は据え置きます。

問 国民健康保険の子どもの均等割を、令和4年度から国は未就学児について5割軽減する。本市では均等割3万3千円の5割分、1万6千500円の軽減となるが、残りの5割分の負担は重い。市が負担できないか。

答 今後、議論の動向を注視します。

問 全国知事会等は、国に対して国民健康保険への1兆円の公費負担を要望してきた。国が1兆円の公費負担した場合、本市の国保税額の見込み額は。

答 明確に答弁できませんが、国の令和3年度の国保財政、予算ベースによると、医療給付費等の総額は約11兆800億円で、

この財源として保険料収入2兆4千900億円を計上しているの
で、仮に保険料軽減に向けて1兆円を投入すれば、国保税額は約4割の削減につながると考えます。



【その他の質問】

- ◆後期高齢者医療保険料軽減特例措置継続
- ◆特別支援教育支援員の増員
- ◆ジェンダー平等教育の推進

個人質問

コロナ禍における農家支援を！

新誠会 石井 孝昭



コロナ禍での農家支援

問 コロナ禍における本市農業者への農業支援は。

答 八街市中小企業元氣アップ給付金において、農業の対象者は136件でした。

問 JA千葉みらい管内での、協同組合エコ・リードにおける外国人技能実習生の受け入れは。

答 千葉県では、1月末現在で33名を受け入れていますが、本市の実績はありません。

問 外国人技能実習生等の農業労働者を含む農業の労働力確保に対して有意な具体策は。

答 雇用の導入支援など、千葉県農業者総合支援センターを活用していきます。

問 農林水産省のコロナ禍における支援「国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業」とは。

答 農林漁業者の新たな生活様式に対応した販売促進、販路の多様化等の取組を支援するもの

です。取組を計画している団体等には、できる限りの支援をします。

問 国営事業完了に伴う今後の北総中央用土地改良事業は。

答 本市の償還予定額約20億円の歳出計画は、17年償還となっており、令和3年度及び4年度の2か年は据置き期間として、令和5年度から令和19年度までの15か年は毎年約1億3千500万円の歳出を予定しています。

問 重要幹線市道における森林整備事業は。

答 今年度は砂地区の森林13ヘクタールが完了しました。来年度は砂及び吉倉地区の整備を見込んでいます。



八街市議会は、議会基本条例を作成しています

議会改革特別委員会が中心となり、八街市議会が市民にとって、より開かれた議会になることを目指して、八街市議会基本条例を作成しています。

委員会メンバーからなる小委員会で検討を重ねて作成した素案を委員会で協議し、令和3年度中の制定を目指しています。



議会基本条例とは？

市民から選ばれた議員によって構成される市議会の、組織と運営の方針と基本ルールを定める条例のことです。地方自治における自治体の運営に対する議会の役割と責任を果たすために議会運営の基本理念である議会基本条例の制定が全国的に進んでいます。

八街市議会地域公共交通研究会を発足しました

電車、タクシーやバスなどの地域公共交通は、自動車を使用しない住民の生活の重要な基盤です。

八街市のよりよい地域公共交通のあり方については八街市地域公共交通協議会が検討、推進していますが、市議会においても、より利便性の高い、八街市に合う地域公共交通の形を独自に調査、研究することを目的として、八街市議会地域公共交通研究会が発足しました。

令和3年2月2日に第一回、4月15日に第二回の研究会が開催され、市の公共交通の現状と問題点を提起しました。



八街バイパスが全線開通しました

八街バイパスは、八街市街地の交通渋滞緩和や安全で円滑な交通のため、整備されました。

県道八街横芝線の大木交差点から国道409号までの区間の工事が完了し、全線開通となり、令和3年3月23日に開通式が行われました。市議会からは、鈴木 広美議長、角 麻子経済建設常任委員長が開通式に参加し、工事の完了を祝い、交通安全を祈念しました。



児童館、老人福祉センターを視察しました

令和3年3月16日、4月からオープン予定の八街市で初の児童館、八街市児童館（愛称 ひまわりの家）と改修工事によってリニューアルされた老人福祉センター（愛称 ゆうゆう）を議員全員で視察しました。

この2施設は隣接する位置にあり、指定管理者である八街市社会福祉協議会が管理、運営を行うことにより、子どもたちとお年寄りの新たな世代間交流の場となることを期待します。



子どもたちの新しい居場所として、また子育て世帯の支援の拠点として、多くの交流と様々な創作活動、体験活動を通じて、児童の健全な遊び場の確保、健康増進、情操を高めることを期待します。

リニューアルされた老人福祉センターは、内外装の改修のほか、段差の解消や浴室の整備など施設全体のバリアフリー化による福祉避難所としての機能に加え、太陽光発電設備や防災井戸の整備により、災害にも強い施設となりました。



八街市コロナワクチン対策プロジェクトチームです

市民の皆さまに新型コロナワクチンを速やかに接種ができるようにプロジェクトチームを立ち上げ、関係機関と連絡、調整をしながら準備を進めています。

現在、身近な市内の医療機関での「個別接種」と、公共施設などで行う「集団接種」の2つの接種体制の確保に向けて準備を行っています。

ワクチン接種に関する情報は、市のホームページに掲載しています。また、相談、予約については八街市コロナワクチンコールセンターへお問い合わせください。

(国の施策や、副反応への不安など医学的な疑問については国や県の相談窓口にお問い合わせください。)

ワクチンの接種券、予約等について

八街市コロナワクチンコールセンター

電話番号 050-8892-5271 (相談ダイヤル)

050-8892-5270 (予約ダイヤル)

受付時間 祝日を除く月曜から金曜日 午前9時から午後5時

市ホームページ



国・県の相談窓口

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター (国の施策などについて)

電話番号 0120-76-1770

受付時間 午前9時から午後9時 (土曜・日曜日、祝日も実施)

千葉県新型コロナワクチン副反応専門相談窓口 (副反応などの相談について)

電話番号 03-6412-9326

受付時間 24時間 (土曜・日曜日、祝日も実施)

次回6月定例会日程 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
5/30	31 <input type="checkbox"/> 本会議 定例会開会	6/1	2	3 <input type="checkbox"/> 本会議 一般質問	4 <input type="checkbox"/> 本会議 一般質問	5
6	7	8 <input type="checkbox"/> 本会議 一般質問	9	10 <input type="checkbox"/> 本会議 議案質疑	11	12
13	14 <input type="checkbox"/> 委員会 総務	15 <input type="checkbox"/> 委員会 文教福祉	16 <input type="checkbox"/> 委員会 経済建設	17	18	19
20	21	22 <input type="checkbox"/> 本会議 定例会閉会	23	24	25	26

○会議開会予定時刻○

※本会議・委員会…午前10時

※: パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。



編集後記

3月定例会は2月15日から3月18日までコロナ感染対策をして開催され、会派代表質問、個人一般質問、予算審査特別委員会等が行われました。今年度は児童館の新設、老人福祉センターのリニューアル、ふれあいバスのルート変更等、市民サービスの向上が推進されており、今後も「やちまた市議会だより」をご愛読いただきまして、市民の皆様のご意見をお聞かせ下さいますようよろしくお願い申し上げます。

(編集委員 小川 喜敬)